

第12回 法人研究発表大会

1

2019.2.3

第12回法人研究発表大会を開催しました。

2019（平成31）年2月3日、OMM2階展示ホール・会議室などを会場にして、平成最後となる法人研究発表大会が開催されました。法人研究発表大会は、法人各分野における、日頃の実践を振り返り、研究成果を報告するもので、職員のキャリアアップ・情報の共有化などを目的に、毎年一回開催されています。今年も法人職員始め、300名以上の参加者により、会場は熱気に包まれました。

今回基調講演は、全心連公認プロフェッショナル心理カウンセラーの浮世満理子先生を講師にお招きし、「お互いを尊重し、心を伝え合う」をテーマにご講演いただきました。より良い職場環境を作るために、職場内の人間関係を円滑にし、職員同士が尊重し、気持ちを伝えあうことや、自分自身のセルフケアの大切さを学びました。

辞令交付式・永年勤続表彰・理事長挨拶・基調講演



第12回 法人研究発表大会

介護部門では、人材確保に向けたグローバルな取り組みから、各施設での個別ケアに関する発表、ICT機器導入効果の検証まで、幅広い発表がありました。保育部門では、改定保育指針をもとに、子どもと保育士の日頃の関わりが目に浮かぶような、非常に実践的な内容で、どの施設・事業所の取り組みも、聞かせて頂いて、大きな刺激を受けると共に、エビデンスある実践に繋がる、素晴らしい内容となっていました。

閉会後には、OMMビル20階にある、東天紅へ移動し、懇親会が行われました。2019年度新卒採用職員の紹介や、各事業所の新入職員の紹介などもあり、高齢部門・保育部門のエリアの垣根を越えて職員間の交流を深めることができました。

個別研究発表の様子（各会場に分かれて、発表・質疑応答が行われました。）



懇親会（外国人スタッフが素敵な歌声を披露してくれました。）

